

2015 JAIMA セミナー 「これであなたも専門家－流れ分析編」

株式会社 小川商会 樋口慶郎

平成 27 年 9 月 3 日、幕張メッセ国際会議場 301A 会議室で JAIMA セミナー「これであなたも専門家－流れ分析編」が開催された。このセミナーは、毎年 9 月初旬に開催される展示会の JASIS (Japan Analytical & Scientific Instruments Show, 2012 年から。それまでは分析展) の併設として、(一社) 日本分析機器工業会 (JAIMA) 主催で行われているものであり、FIA 研究懇談会としても毎年参画してセミナーを開催してきた。本来であればこのセミナーの報告は初めてなので (?), 過去の歴史の流れなどを調査して報告すべきところかもしれないが、古くから関わってきたはずの筆者のパソコンには 2011 年からの資料が残っておらず、歴史については今回は割愛させていただく。ともかく JASIS は、2012 年にそれまで別々に開催されてきた分析展と科学機器展が合体して生まれたアジアでも最大規模の展示会で、日本各地から多くの、特に、分析機器ユーザーが集まってくることに注目し、その人たちをターゲットとしたセミナーと位置づけられ、分析機器の普及による科学技術の発展と、分析機器産業・メーカーの発展に寄与するという側面を有している。企画に関しては、日本分析化学会の各研究懇談会が JAIMA に対して提案する形で毎年行われて、我が FIA 研究懇談会は、分析機器ユーザーに FIA を知ってもらい、実際の分析現場に FIA ユーザーの数を増やすことを目的に、毎年テーマを決めて開催してきた。

筆者は、2012 年から座長の手嶋紀雄先生 (愛知工大) とともに深くかかわらせていただいている。この年から、それまでの「FIA 編」から、JIS K0170:2011 “流れ分析法による水質試験方法” が制定されたことをきっかけに連続流れ分析 (CFA) も取

り込んだ形で「流れ分析編」としてリニューアルされ、CFA を扱う企業の方にも参画いただいた。流れ分析法の基礎と応用、JIS 化や公定法化の現状、最新の研究紹介などの講義を主に先生方にやっていただき、各機器メーカーも自社製品のアピールや情報の提供を行う形でこれまで開催してきた。聴講者数は例年 20~30 名程度で、企画側からすれば正直なところ、もっと多くのユーザーを集めたい(集めなければならない)と反省の連続であった。

そんな中で、今年は重点企画として、①実際に FIA を事業に使ってくれているユーザーの視点から見てきた生の声、②JIS K0102:2013 で流れ分析と同時に採用されて、すでに発展を見せている固相抽出法とのカップリングなどの新たな視点からの講演を取り上げた。講演概要は次のとおりであった (敬称略)。「流れ分析法の基礎と環境・臨床分析への応用 愛知工大 手嶋紀雄」, 「流れ分析法の新たな JIS 規格などへの採用の現状 横浜国大 中村栄子」, 「分析現場から見てきた FIA 今昔物語 アクアパルス 飯尾祐子」, 「SIA に貢献する無機固相分離剤の基礎と応用 ジーエルサイエンス 古庄義明」, 「前処理デバイスを活用した流れ分析で化学分析を快適に 小川商会 樋口慶郎」。結果、聴講者数は主催者集計 32 名と例年を少し上回った程度 (実際にはもっと入っていたように思うが) であったが、会場の雰囲気から例年以上の盛り上がりと感じることができた。

2016 年の開催も決定している。このセミナーがさらに有益なものとして機能していくように、今後も PDCA サイクルを回しつつ努力していきたいと思っている。読者の皆様からの企画のご提案も広くお待ちしております。